



1. 心臓に関する疾患

2. 内科・糖尿病の治療

3. 睡眠時無呼吸症

4. 土曜日診療

5. オンライン診療

電話
オンライン
診療します

ホームページ



診療予約



2020年5月 診療カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
26	27	28	29	30	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

休診日 午後休診

住所: 東京都中央区日本橋大伝馬町13-8
メディカルプライム日本橋小伝馬町3階
TEL: 03-3639-3110 FAX: 03-3639-3112
休診日: 月曜日午後、土曜日午後、日曜祝日



診療時間(緊急事態宣言中)
午前10時～午後1時、午後3時半～午後6時半

<お知らせ>

- ・緊急事態宣言中は**診療時間を変更**しております
- ・感染拡大防止のため、**原則予約診療**としております。
Webか電話で予約後に受診をお願いいたします。
- ・風邪症状の方は、以下の時間の診療としております。
12:00～13:00、17:30～18:30
- ・オンライン診療をおこなっております。初診の方もご利用できます。詳しくはホームページをご覧ください。
- ・LINE公式アカウントをぜひ登録ください。
クリニックから有用な情報をお送りしております。

さいとう内科・循環器クリニック @237gsvtx
LINE公式アカウント



生物と無生物のあいだ

生物学者の福岡伸一さんの「生物と無生物のあいだ」を初めて読んだのは10年ほど前だったと思います。私が大学院生の時、福岡さんと同じように、日々電気泳動やPCRなどの基礎実験をやっておりましたので、共感する内容も多く大変興味深く読んだものです。

基礎実験は残念ながら私にとって臨床医学と比べるとそれほど面白みを感じることはなく、これを一生続けようとは思わなかったのですが、この本を読むと一見無味乾燥な基礎実験がある意味哲学的な思考の元に行われていることを知り感銘を受けたものです。

新型コロナウイルス騒動が起きた時に、真っ先に思い出したのはこの福岡さんの本のことでした。その理由の一つは、ウイルスにとってよく問題とされる「ウイルスが生物なのか無生物なのか？」という問いがそのまま本の表題になっていること、もうひとつはコロナ騒動で一躍有名になったPCRの発明者キャリー・マリリスについて、書かれているためだと思っています。

第5章「サーファー・ゲッツ・ノーベルプライス」では破天荒なキャリア・マリリス博士がドライブデートの最中にPCR法を思いついたことが生き生きと描かれておりましたが、分子生物学者しか縁がないようなPCR法について今では一般市民の口から発せられることに不思議な感覚を覚えています。(今回の新型コロナウイルスの場合、RNAウイルスなので、正確にはRT-PCR法 すなわち、RCAからDNAを作ってそれを増幅させる方法です)

新型コロナウイルスの今後について福岡伸一さんは、「ウイルスは高等生物の遺伝子の一部が外部に飛び出したものである。ウイルスは遺伝情報を水平方向に、場合によっては種を超えて伝達し進化を加速させてきた。それゆえ私たちの生命の不可避の一部であるがゆえ、根絶したり撲滅したりすることはできない」と述べています。

これまで地球上から撲滅されたウイルスは天然痘くらいでしょうか？新型コロナウイルス感染症のように多くの人々に感染し、その多くが無症状があっても軽い症状の場合、そのウイルスを根絶することは困難であると私も思います。新型コロナウイルスは例え感染者が少なくなったとしても今後も生き続けるに違いありません。

新型コロナウイルスが一体どのような形で共存するのでしょうか？例えば、麻疹や風疹のような形なのか、インフルエンザのような形なのか、それともノロウイルスのようなものなのでしょうか？皆さんの頭の中には麻疹や風疹のようなウイルスがイメージされていて、ワクチンができれば解決すると想像しているようですが、そうとは限りません。世の中にはワクチンや治療薬のない感染症も多ありますし、インフルエンザのように季節ごとの予防接種が必要なウイルスもあります。

今さかんに叫ばれている「Stay Home」は一時的な感染拡大を抑えることに効果があるかもしれませんが、問題の根本解決にはなりませんし、このままの自粛生活が続くと我々の社会は壊滅的なダメージを受けてしまいます。コロナと共存する世の中で我々がどのように社会活動を再開させていくのかを、そろそろ本気で考えていかなければいけないと思っています。